

や 広報たしる

No. 424

昭和63年12月号



田代町企画管財課

あすの田代をひらく町民文化祭
“より高く.より深く.より広く”

第12回 田代町文化祭



人口の動き

昭和63年11月 1日現在

住民基本台帳		増 減				前月 対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,917	3	7	0	7	3
女	2,121	1	9	1	5	4
計	4,038	4	16	1	12	7
世帯数	1,441					1

田代町文化祭が、去る十一月三日、町開発センターで開催されました。

昨年までは、町の振興大会終了後に開催されていましたが本年より文化祭を単独実施した結果、朝から歌や踊りが楽しめるようになってか昨年よりも多い見物客でにぎわいました。

また、内之浦町の岸良子供会が「棒・鎌おどり」を披露し花を添えてくれました。

田代町文化祭

した。急な事で上納米もなく、飼っていた牛も全て二束三文で売りました。三月一日は私の誕生日、二日は主人の誕生日、三日は主人入院の日、その一日の朝の事、十数年来飼っていた牛の初号が見知らぬ人にたずな取られ門口を出て行く時、眼にいっぱい涙をため、きれいな黒い瞳からいっぱい涙があふれていました。初め、おうしと牛の首にすがりつき絶句しました。おまえにもこの家が崩壊するのかわかるのかいと牛に抱きつき別れをおしみました。

死ぬ程心配した主人の手術も無事終了六時間後病室に帰って来ました。二日目の夕方より痰が出始め、横隔膜を両サイドから押し上げる介護方法も覚えませんでした。しかし手術後



体験発表される下有村律子さん

四日目の夜が一番つらいでした。私の左手首のひもは、ひっきりなしに引っ張られます。痰が出る、おしっこ、口が渇く等と主人も一番苦しい夜だったのでしよう。口からは何も飲めません。ガーゼに包んだ水で口を濡らす程度は良いでしようと思いましたが出たので、しきりにこれを要求し、油断するこの水をチューチューと吸ってしまおうのです。その頃主治医の先生から切り取った主人の胃の標本の説明を受けました。

うすい桃色のきれいな標本の右上の角ついで小指の爪程の白いゆらゆら揺れている様な斑点の外は、何も見当りません。まさか、これ、と指でさしますと、先生はそうそれが癌ですよ、癌とは紫色か黒色をした醜いごつごつした面相をしているかと思ってい

ましたので信じられませんでした。

なぜ食道と小腸をくっつけて胃全体を切り取らなければならなかったか、転移も再発も絶対にない事の説明をうけました。御主人は幸せな人です。第一に早期発見です。胃の表面と粘膜に生まれたばかりにまだ根もおろしてなかつた。

た事。第二に場所、胃の肩の所で普通末期にならないと発見できないのが徹底して探してくれた事。早期発見はありがたいですねと話して下さいました。

時は五月となり七十日より退院、早期発見で転移も再発もないとの先生のお墨付きで、癌との戦いは終わったと本当に喜んだ私でした。

普通ならここで安心してよかったのですが、我家の場合は本当の戦いはこの時始まったのです。主人のうんこにらめつこの食事づくり、流動食にしたり、お粥にしたり、そうこうするうち、主人退院二ヶ月目の七月に二度目の手術をしました。開けて閉じて三十分程で終わりました。この二度目の手術で手遅れであつたと私達はほぞをかんだのでした。兄の行く末を思い、主人の心の痛さを思いました。

その時主人は、兄は近く死ぬなあ。同じ胃癌の手術をしたので自分も一年位したら兄の後を追うだろう。そうなる前に苦しまずに安楽死する方法はないかと、何回か遺言状を書いたと今では申します。

主人退院四ヶ月目頃より主人も私も兄の家に泊まる様になりまして。痛みに耐えられぬ兄のうめき声、いや悲鳴でした。主人退院六ヶ月目の十一月九日兄はとうとう帰らぬ人になりました。六十二才でした。やっと痛みから開放された兄のやつれた顔、姿でした。

野辺の送りを済ませ我家に落ち着いた時、おれは二度目の手術は自分の意志ではしない事にしようと言ったのです。

私は早期発見だからお父さんのルールは別よと力めれば力む程主人の心は冷めてしまふのです。転移も、再発もないと言ってお墨付きの先生の言葉はなんにも役に立ちませんでした。同じ胃癌の兄の死による心の痛みは、まともに消化器系にはこたえました。

この心の痛みは二年三年と続いて行つたのです。当時うんこも悪く下痢が続きます。ほんの半口多く食べると苦しがりいつか救急車を呼ばねばと生きたここははしませんでした。そうこうするうちに、最初の新年は兄の喪に伏し、春三月恐る恐るのうちに二年目への挑戦に踏み出したのです。うんこにらめつこの一進一退を繰り返しながらもあ、三年、五年過ぎたとそれ

第三回健康まつり サンライフふれあい広場



表彰されたみなさん

第三回健康まつりサンライフふれあい広場が、去る十月三十日、町開発センターにおいて盛大に開催されました。健康まつりサンライフふれあい広場は、この広場に参加し健康についての意識を高めることを目的として行なわれましたが、当日は婦人会を主体に多くの方々が参加されました。

当日は、開会のあいさつ、祝辞に引き続いて、健康づくり優良小組合として上柴立部落、山下部落が表彰されました。また、町民から募集した健康作文、健康ポスターの表彰も行われました。

健康作文は、小学生の部で田代小四年の大垣紗織さん、中学生の部で田代中二年の安楽めぐみさんが特選として選ばれました。

ひき続き、特別講演として「ガン」の征伐をめざして、中馬康男氏の講演が行われ、「現在集団検診として、胃ガン検診、子宮ガン検診、乳ガン検診、肝臓、胆のう、すいぞう検診が行われており、昨年より肺ガン検診も始められています。

ガンという恐ろしいという概念がまだまだ強いですが医学の進歩により、早期発見癌であれば救命も可能な時代になってきました。ガン対策の第一は自覚症状のないうちに検診を受けて早期発見に務めることです。

第二に乳ガンでは自己検診



中馬康男氏の講演

「夫の胃癌を克服して」

東串良町・下有村律子さんの内容は、下有村さん夫妻は十四年前、町の胃検診を受け、夫妻共々精密検査の通知を手にしました。

そして夫妻そろって鹿児島で精密検査を受け、私は異常なし、主人は手術の必要性を言われました。手術が決まってから胃の手術の先輩である主人の兄に手術前の自覚症状を聞くと、痛くも痒くもなし痔が悪くて出血や黒い便があっただけ、思えばそれは体の中からの出血ではなかったかと思う事でした。

そして入院迄の一週間に全ての田地田畑を小作に出しま



アトラクションの演奏

教育だより

田代小学校

甘しよ収穫

六月、学校農園に苗の植付けをしたさつまいもの収穫が十一月五日にありました。ゆとりの時間を使って、これまで子どもたちが大事に育ててきたさつまいものです。六年生が中心になって、八つの班に分かれて一年生から六年生までみんないっしょになり、力をあわせての作業をしてきました。夏の暑い日には、苗がよく育つように草取りを行ない、ようやく収穫の日がやってきました。二時間かかって、たくさんのおさつまいもをみんなで収穫しました。今年も大豊作でした。

収穫したさつまいもを九日に試食し、南松園のおじいさん、おばあさん方にも自分達で作ったいもを食べていただくとうと、児童会の子どもたちが届けて、たいへん喜んでいただきました。

日記より

いもほり

一年 なべ たかゆき

ぼくは、きょういもほりをしました。ずっとまえうえたので、くさとりもすんでいました。そして、いもをたくさんとりました。いえにもってかえたのは、3こでした。

おもいをたべたこと

一年 ひらぐち よしえ

きょうは、6じかんめにたいくかんでおもいをたべました。ほかほかして、とてもおいしかったです。6年生のおねえさんたちとたべて、とてもたのしい6じかんめでした。

いもほり

三年 鍋 光博

一時間目と二時間目に学習農園でいもほりがありました。ぼくは一年生に、「ねっこのところをほってくらいいがあるよ。」と教えてあげると、大きないもや小さいいもがたくさんできて、すぐに一りん車いっぱいになりました。それでも、まだまだいっぱいできてきました。

し食会がとっても楽しみみです。

南しょう園に

さつまいもを届けて

六年 姫ヶ迫 百香

十一月九日、五、六時間目は、甘しよの試食会でした。みんなが心をこめて作ったおもいを南しょう園のおじいさんやおばあさんに食べてもらおうと、児童会の代表で持って行きました。わたしたちが、「田代小農園で獲れたさつまいもです。みんなできりました。食べてください。」というと、「いつもみなさんが心をこめて作ったものをいただき、おいしく食べさせてもらっています。本当にありがとうございます。」と言って喜んでもらい、とてもうれしかったです。そばにいたおばあさんも、涙を流しながら、「ありがとう、ありがとう。」といってくれました。暑い日の草取りはたいへんだっただけで、がんばってよかったなと思いました。

南しょう園のおじいさん、おばあさん達に、これからも長生きしてほしいです。

近畿地区同窓会開かる

田代中学校を、昭和四十三年三月卒業し、今、近畿地区で働いている方々が、第一回同窓会を開いた。幹事の坂下道明さんから、右の会をするので校歌をテープに吹き込んでほしい、との便りをいただいたので早速、やまなみ、学校要覧等の資料を添えて送付したところ、別紙の諸宝物が着荷したので、ここに、その一部を町民の皆様にお知らせすることにしました。

まず、お礼の一部

お陰様で同窓会を盛大に開催でき、心から喜んでいきます。最初、皆さんと会った時の

昭和43年度田代中学校卒業生近畿地区同窓生の皆さん

感激は、一生忘れることはいないと思います。不思議なもので、時が経つにつれて昔の友の面影が戻ってきたのです。田代中の校歌を一度も歌って、本当によかったよかったの連続でした。二次会、三次会までという有様で心行くまで昔の思いを語り合いました。私達同級生は、親睦をますます深め、いつまでも田代中同級生として仲良く、また、数年後の再会を約束して元氣な姿で会えるよう誓いあいました。

案内状の一部

田代中の現況などの資料を頂くことができ、我々が在学中と大変違ったものと、いまさらながら時の流れを感じるしだいでした。(約四分の一に減少)何か心の中に寂しい思いが致しました。でも、諸先生方の教育方針、地道な指導、PTAの方々も学校と一体となり積極的に取り組み、生徒も明るく現代っ子だなというやましくも感じました。田代中は自然環境に恵まれ生徒の人間性を育てるには、もっともふさわしい我が母校に誇りを感じました。今後とも、よき伝統を受け継がれ不滅の田代中であってほしいと願うばかりです。

第三回ザ・なんぐうふれあいの広場

なんぐう四ヶ町の若者五十五名が集う

第三回ザなんぐうふれあいの広場が、十一月十三日、花瀬公園を中心に行われました。参加者は、大根占、根占、佐多、田代から五十五人(男三十七人、女十八人)で、田代町の岩下広行実行委員長を中心に各町の実行委員で運営にあたった。

当日は午前九時から花瀬公園内の広場で参加者の受付を行った後、鹿屋市の高木七美スタジオからエアロビクス愛好者四人が応援に駆けつけて、エアロビクスと一緒に楽し

人権週間のお知らせ

12月4日から

12月10日までは

人権週間です

しみ、そのあとグループごとにクイズやなどを楽しくなり、自分達で生産している農産物を利用して全員でカレーを作りました。午後からは公園を利用して八つの関所に挑戦するトラッキング、国語、社会、音楽、算数などの問題をグループで解答する遊びで楽しみ、成績のよかったグループにはイチゴのギフト券が贈られました。また参加した女性全員に、田代銘茶が贈られました。最後は青年達が自分で作った農産物をプレゼントし楽しい一日を過ごしました。次回は佐多町で開催されますので、多数の参加を期待いたします。

田代町自衛隊父兄会

研修旅行

田代町自衛隊父兄会は、十一月二十二日、年一回の研修旅行を実施しました。同父兄会は、自衛隊員の父兄で結成され現在七十七名の会員で父兄会員の相互親睦と融和をはかっています。今回は四十七名の父兄が、知覧町特攻観音堂と平川動物公園を研修しました。新築された知覧特攻観音堂では、特攻隊員の「遺品」や「遺書」等を見学し、なかにはなみだぐまれている父兄の方々もあられました。帰りは、車内で焼酎をくみかわしながら親睦会を行いました。

ご注意!

狩猟事故・狩猟盗難

今年も十一月十五日から狩猟が解禁されました。ところで鹿児島県は狩猟による事故が、全国一位という不名誉な記録をもっています。昨年は重・軽傷者四人を出す四件の事故が発生しました。事故は、ハンターが銃の取り扱いの基本的な注意を怠ったために起きています。(1)銃は定期的に点検整備を行なうこと。また、猟場に着くまでは弾を装てんしないこと。(2)猟場の地形をよく調べておくこと。(3)銃口はどんな場合でも絶対に人に向けてないこと。(4)特に初心者や新しく銃を買った人は銃の取り扱いを習熟すること。また、狩猟が盛んな野や山に出かける時は、目立つ色の服装など身に着けることが、事故から我が身を守ることにあります。

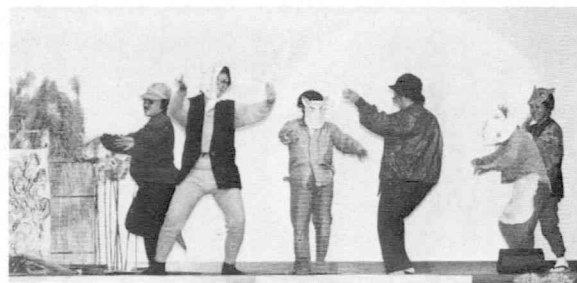
猟銃の盗難防止

銃は自らの責任で保管しなければなりません。基準に合った保管庫に厳重に施錠し、保管してください。

第111回 高山木材共販相場表

Tel0994-65-5234 昭63年11月15日市

長級	径級	スギ					ヒノキ					平均単価 20,300円
		主		材		間伐材	主		材		間伐材	
		曲	安	中	高	直	曲	安	中	高	直	
40	3~10		10,000	11,500	11,000	10,000		15,000	16,000	18,000	15,000	
	11~13		16,000	17,000	18,000	16,000		25,000	30,000	43,000	25,000	
	14~16		17,500	18,500	21,000	17,500		35,000	50,000	60,000	35,000	
	18~22	(タイコ)	19,000	21,500	27,000	19,000		40,000	55,000	90,000		
30	3~10		8,000	8,500	10,000	8,000		6,000	6,500	10,000	5,500	
	11~13		12,000	13,500	16,000	12,500		13,000	18,000	22,000	13,000	
	14~16		18,000	19,000	21,000	18,000		35,000	43,000	70,000	35,000	
	18~22	(タイコ)	19,000	20,000	23,000	19,000		32,000	45,000	80,000		



山ゆりグループの寸劇「工面じいさん」



サウスグリーンのバンド演奏



麓民踊グループの踊り



詩吟同好会の皆さん



内之浦町の岸良子ども棒鎌踊り

より高く、より深く、より広く

第12回町民文化祭

スナップ



田代小学校「リードバンド」の演奏



田代幼稚園の鼓笛隊



川原子ども会の「鳩間節」



三味線同好会の皆さん

とりいれ祭り 辺塚小との交流学習

大原小学校

十月二十一日(金) 佐多町の辺塚小との交流学習が行なわれました。この交流はふるさと交流の一環で、今年で二年目になります。

今回は、これまでに育んできた両校の友情を、とりいれ祭りを実施する中でより深いものにしようという目的で行なわれました。

対面式を終えると、さっそく学年ごとに仲良く合同授業。次は、自分より大きいキネをふり上げ、餅つき。給食は、体育館で全員で楽しく餅給食。昼からは、みこしを作り、元気よくみこしかつぎ。最後は、全員で「村まつり」などを合唱し、楽しい一日を終えました。

お父さんお母さん方も、朝早くから餅つきの準備などに大忙しでした。夜は両校のPTAでワキアイアイの懇親会。本当に有意義な一日でした。この交流が長く続くといいですね。



餅やきに一生けん命のお父さんお母さん方



元気よく餅つきの子ども達

もちつき

二年 大浦地 健

きねは、てつみたいにおもいでした。だから、けんじくんのお父さんと二人ずつでもったのです。

きねをもちの上にとり下ろしたら、ベチャと水がとんできました。みどりさんのお父さんが水をつけて、もちのわきの方をひっぱって、まん中におしつけました。

きねを何回も上げたり下ろしたりしました。ぼくは、いっぺんを出しました。

とり入れ祭り

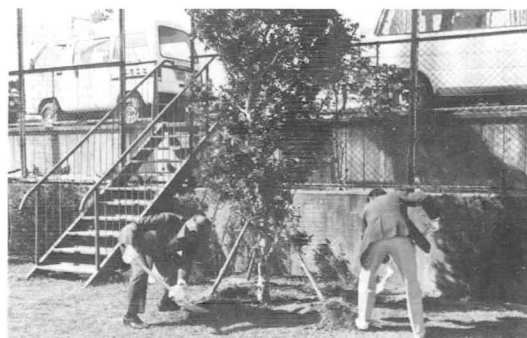
五年 井元 薫

辺塚小の五年生と勉強をしました。いつもの勉強より楽しいでした。いつも、こんな楽しい勉強がつけばいいと思います。

もちつきもしました。もちをまるめる時、あまり上手にやめず、とちゅうでもみ方をやめてしまいました。もちをまるめるところは、まい年、人でいっぱいになります。らい年も、こう流学習があればいいのになあと思いました。

「サンライフ運動 十周年記念植樹」を実施

十月三十日(日) サンライフ運動十周年記念植樹を中央運動場で実施しました。当日は、壮年ソフトボール大会の開会式に先立ち、総務事務所長、町長、体育協会会長等多数参加のもと、町木である「やまもも」の木を植樹しました。式典では、知事のメッセージが町長へ手渡され、最後に鉦ナル子婦人連絡協議会長が誓いのことを述べ、サンライフ運動の一層の普及、定着を誓いました。



植樹をする町長と体育協会長

昭和64年 田代町成人式

- ・とき 昭和64年1月3日(火) 午前9時30分より
- ・ところ 田代町開発センターホール

※全員平服で参加しましょう!!

あなたと私で育てる
差別のない心

いわれなき
差別するまい
させるまい

手をつなぎ
差別をなくす町づくり

健康だより

「かぜ・感冒・風邪」

私達が一年間にかかるかぜの回数は、平均三〜四回と言われています。

一口にかぜと言っても、熱のない鼻かぜから、のどの痛い咽頭炎、咳と痰の出る気管支炎、高熱の続くインフルエンザまで多種多様です。

インフルエンザの流行は、主に冬季ですが、その他のかぜは一年中ですが、いったいどの様な悪い条件が重なると、かぜになるのでしょうか。

睡眠不足や、過労等で体力が落ち、抵抗力がなくなっている時や、次の様な場合です。

①寒さによる呼吸器粘膜の抵抗力の低下
②暖房による室内乾燥でのどの粘膜の抵抗力の低下
③むりな発声や声の使い過ぎによるのどの粘膜の疲れ
④たばこの吸いすぎによるのどの粘膜の荒れ

⑤過労・睡眠不足・栄養のアンバランス・湯ざめ等の冷えによる抵抗力の低下

⑥精神的にがっかりした場合
一年間に何回もかぜをひく様な人は、バランスのとれた規則正しい生活をしているかどうか、自分の生活

のあり方を反省する必要があるのではないのでしょうか。

かぜにかかってしまったら、出歩かないで安静にしているのが一番です。特にかぜの流行する冬は、できるだけ人ごみに出ない事です。

うがい：外出から帰った時、就寝前等は必ずうがいをしましょう。一日何回も

湿度：日本の冬は乾燥します。特に暖房時は湿度を保つ。

温度差：風呂あがりとか、暖房の部屋から寒い外に出た時には身体の冷えに注意

過保護：厚着をしなくても過ごせる丈夫な体質をつくる。

過労を避け、夜ふかしはやめて規則正しい生活に、適度な運動、仕事に対する積極的な姿勢がかぜを寄せつけない方法です。

かぜを早く治すには。

安静：安静はかぜのひき始めの早い時期にとる程効果があります。忙しいからと言って無理を重ねると長引いたり、こじらせたりしかねません。

保温：寒さにあうたびに、かぜをひき込んでしまうので、保温が大切です。

栄養：消化の良いバランスのとれた温かい物がよい。

治療：早めにする。



戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません



田代町社会福祉協議会

「篤志寄付金」

さきに御逝去されました方の御遺族より、香典返しを廃止され、社会福祉協議会へ多額の御寄付を賜りました。厚くお礼申し上げますと共にご冥福をお祈りします。

篠原 信 一様
前之園 ヒサ子様
浜田 優 様
小路 幸 一様

「一般寄付金」

愛知県にお住まい(田代町山ノ口出身)の松元虎吉様から「社会福祉のために役立てて下さい。」と社会福祉協議会へ多額の御寄付を賜りました。このお金は、町から広報紙を年四回送付を受けているお礼として、松元さんご夫妻がこつこつと積み立てられたお金を、社会福祉協議会に賜ったものです。

善意の御寄付金を町民一同と共に感謝申し上げます。

十二月の納税は町民税

固定資産税の第四期分です。